



利門  
巻

利門  
巻

いふ一はからういふはただまの幸々もはくはくといふの  
もいふもといふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも  
さきもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも  
おのの申れ幸の言一いふの代のよとよとよとよとよとよとよとよとよ  
くのはすすすすすすすすすすすすすすすすすすすすすすすすす  
こゝれもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも  
さきいふの言祝の言もたよもやうきすすすすすすすすすすすすす  
代の人よいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふもいふも

明治三十二年  
十月十一日  
購求

黒田

下  
上

Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or account. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. Some characters are written in a slightly larger or bolder hand, possibly indicating emphasis or specific terms. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or record from the previous page. The script is consistent with the text on the reverse side. The lines are closely spaced, and the overall appearance is that of a continuous document. There are some faint markings and bleed-through visible on this page.

古言梯序

Handwritten text in a cursive script, likely a continuation of the text on the reverse side. The script is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a continuation of the text on the reverse side. The script is dense and fills most of the page.

古言抄序

明か二の目

漢字の文字







音韻類考  
卷之四  
音韻類考

いづれ古傳のちをもて天下の古書を廣くする。此言をば、考はて吾が漢書に  
傳ふまで後、縣まひろく考、亦かおひしを加ふ。語意を、古書に傳ふそれ  
は五言の堅音、もやまひる。精韻、龍用、助平、言、世、傳、ぬ、と、の、道、の、  
子、を、あ、清、音、濁、音、の、通、ひ、本、濁、假、濁、の、子、う、た、く、の、傳、を、せ、い、は、む、か、  
一、帯、て、知、る、を、その、あ、ね、は、思、い、し、ん、  
○或人吾友、友、系、下、方、伎、同、他、字、つ、つ、ひ、て、よ、ま、の、い、や、と、上、つ、代、も、あ、る、ま、あ、ら、ん、  
文字、伝、り、て、は、音、韻、四、聲、よ、り、又、悉、曇、よ、り、て、こ、ま、り、を、定、ま、あ、る、べ、し、づ、れ、も、  
又、ま、の、う、へ、の、こ、も、あ、れ、吾、國、の、子、や、い、ま、う、ど、か、是、一、や、づ、る、伎、音、縣、ま、の、い、づ、  
か、天、竺、ま、ま、な、字、て、お、お、か、く、て、い、言、の、み、ら、り、後、日、月、鳥、獸、子、万、の、志、の、形、を、書、て、  
その、音、の、上、を、や、せ、ら、う、その、形、子、音、何、く、ま、お、も、い、は、後、の、世、の、あ、り、そ、ま、か、て、  
皇、朝、の、言、の、を、い、づ、い、づ、い、づ、い、づ、い、づ、い、づ、い、づ、い、づ、い、づ、い、づ、い、づ、  
悉、曇、よ、り、よ、れ、る、よ、り、は、文字、は、後、ま、ま、あ、る、ま、あ、り、て、し、言、の、意、よ、り、出、つ、れ、  
る、の、言、を、い、ま、す、音、韻、即、口、の、内、ま、ま、あ、る、い、ま、く、い、ま、く、い、ま、く、い、ま、く、  
弘、計、王、も、申、す、所、兄、才、才、た、て、三、も、日、ト、夕、前、の、か、お、り、づ、れ、億、中、弘、中、交、  
を、あ、ら、い、づ、れ、所、兄、い、づ、れ、所、才、才、も、つ、づ、づ、づ、づ、づ、づ、づ、づ、づ、づ、づ、  
出、る、言、の、上、を、一、い、ひ、か、る、こ、も、冠、辭、ま、ま、あ、れ、い、ぬ、お、ま、の、言、一、つ、た、ま、ま、あ、る、

音韻類考  
卷之四  
音韻類考

か、し、も、子、文字、を、つ、入、聲、の、子、吾、國、の、言、の、多、く、を、見、よ、み、凡、の、伊、勢、い、ひ、は、が、  
み、ぬ、の、い、ひ、み、ぬ、を、み、ぬ、の、を、見、ぬ、い、ひ、を、か、さ、か、つ、の、な、あ、い、ひ、け、  
言、い、ぬ、を、お、ま、あ、ま、あ、ま、あ、ま、あ、ま、あ、ま、あ、ま、あ、ま、あ、ま、あ、ま、あ、ま、  
い、か、う、人、且、東、の、男、女、の、あ、つ、づ、づ、づ、づ、づ、づ、づ、づ、づ、づ、づ、づ、  
を、を、た、の、言、の、げ、ち、あ、ら、う、あ、ら、う、あ、ら、う、あ、ら、う、あ、ら、う、あ、ら、う、あ、ら、う、  
を、か、ま、の、う、い、か、う、を、又、い、ぬ、を、あ、ら、う、あ、ら、う、あ、ら、う、あ、ら、う、あ、ら、う、  
の、言、の、つ、づ、  
一、他、字、あ、れ、必、古、書、ま、よ、り、て、あ、ら、い、き、ま、の、あ、ら、い、他、字、の、遠、く、即、言、の、よ、り、あ、ら、  
古、書、の、古、事、記、よ、り、は、下、て、史、表、承、平、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、  
や、ま、く、よ、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、  
人、あ、ら、皇、朝、の、古、書、を、よ、み、ぬ、は、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、  
ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、  
依、て、五、十、連、の、音、を、も、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、つ、  
あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、う、の、ま、ま、あ、ら、  
後、は、此、國、に、伝、り、る、の、あ、ら、い、よ、り、あ、ら、い、  
○次、五、十、音、子、と、い、ひ、條、一、言、より、四、言、五、言、を、ら、ら、ち、

古言梯附言

わ	ら	や	ま	は	奈	た	さ	か	あ
六十六	六十五	五十九	五十二	四十五	四十	卅三	廿六	十七	
わ	り	い	み	ひ	に	ち	き	い	
六十七	六十五	既出	五十四	四十四	卅七	卅五	廿八	廿二	一四
う	る	し	む	ふ	ぬ	つ	次	く	う
既出	六十五	六	五十六	四十九	四十二	卅六	三十	廿二	十一
ゑ	れ	え	次	へ	祢	て	せ	け	え
十三	六十五	六十二	五十一	五十	四十三	卅八	卅	廿四	六十二
わ	る	よ	も	ほ	の	中	そ	こ	を
六十九	六十三	六十三	五十七	五十一	四十四	卅八	卅二	廿四	十四

古事記  
 紀日本紀  
 續紀續日本紀  
 續後紀續日本紀  
 詔書命  
 式延喜式  
 福式祝詞  
 万葉集  
 新万葉集  
 字鏡  
 和名錄  
 以外の書名は全く挙

古言梯

○安部

一言

安。阿。婀。鞅

二言

阿は

穀也古事記阿波日本紀

粟

阿は

阿はくきあり古阿波万葉集

淡

阿は

阿波

安房

阿八

阿は

飛脚阿波

阿拜

阿わ

水上の阿わきり古阿和紀

沫

あわ

海草

藍

阿ぢ

魚圍阿地和月

あぢ

古阿治

味

阿ぢ

色古阿表和月

青

あぢ

古言梯





古言抄

おふみ

伯耆郡  
和安不義

あはぢ

國之和  
阿波知

淡路

あひづ

陸奥郡  
和安比之

會津

あいた

出羽郡  
和安伊太

秋田

あいか

出雲郡  
和安伊加

秋鹿

あいた

英多

あゆち

尾張郡  
和安湯市  
有和安伊知  
これのい  
平信

愛知

あのみ

碧海

あかふ

信濃  
和安加布

あきの

淡路  
和安嘉

平安

四言

あゆき

和安和智  
岐國和智

あひむこ

姉妹の夫  
和安比無吉

姪

あひま

あはら

魚  
和安

あひむい

相老相  
和安部老  
おが部  
お在相生  
のまやま  
おは

あさき

清言

あま

あまづら

あまづら

あまづら

和安

あま

あまづら

あまづら

あまづら

和安

あま

あまづら

あまづら

あまづら

あまづら

あま

あまづら

あまづら

あまづら

あまづら

あま

あまづら

あまづら

あまづら

あまづら

あま

あまづら

あまづら

あまづら

あまづら

あま

あまづら

あまづら

あまづら

あまづら

あま

あまづら

あまづら

あまづら

あまづら

あま

あまづら

あまづら

あまづら

あまづら

あま

あまづら

あまづら

あまづら

あまづら

あま

あまづら

あまづら

あまづら

あまづら

あま

あまづら

あまづら

あまづら

あまづら

あま

あまづら

あまづら

あまづら

あまづら

あま

あまづら

あまづら

あまづら

あまづら

あま

あまづら

あまづら

あまづら

あまづら

阿阿也危

阿也危

あつかひ

あつかひ

唱阿也加布

唱阿也加布

阿阿也

らへ明之續紀

あるひ阿也

或

阿阿也まさへ

剩阿也

あひ

かは相模郡阿

愛甲

阿阿也さひ糸

江郷阿也

朝夷

朝夷

あさふ

づ越前郡阿

朝津

五言六言七言

あまのかは

天河之河の訓

銀漢

阿阿也かまむば

蜻蛉之小而赤也阿加

赤卒

阿阿也まがへる

蛙阿也追

蛙追

阿阿也まつひ

阿也

阿阿也へづくり

阿阿也まがへる

阿阿也まがへる

阿阿也まがへる

阿阿也まがへる

阿阿也まがへる

あそふ冠辞固阿表余志

阿阿也ぢきか

阿阿也ぢきか

阿阿也ぢきか

無端

阿阿也をひやくさ

阿阿也ぢきか

阿阿也ぢきか

阿阿也ぢきか

阿阿也ぢきか

阿阿也げびかづら

阿阿也ぢきか

阿阿也ぢきか

阿阿也ぢきか

阿阿也ぢきか

阿阿也まのよさづら

阿阿也ぢきか

阿阿也ぢきか

阿阿也ぢきか

阿阿也ぢきか

吉葛

阿阿也ぢきか

阿阿也ぢきか

阿阿也ぢきか

阿阿也ぢきか

⑤

世言機

以部

一言

以伊已異移怡易夷

寐寢眠宿瞻射五訓

五十  
二字一言  
細方以

馬聲  
同上  
細方以

二言

い

古和伊毛也  
或讀或係  
妹

妹

いと

署預和夜方都以毛  
字和以閉都以毛

いみ

鳥和  
伊微  
鷓鴣

いぬ

犬  
奴又東奴

い

い

い

烏賊

い

い

稲

い

い

泥方為祢也為ハ異

い

い

い

い

い

い

い

い

大石古  
伊波  
又石

い

い

い

い

い

い

い

い

い

械

い

い

家

い

い

い

い

い

い

い

い

市

い

版

い

い

い

い

い

飯

い

い

い

い

い

い

い

い

息

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

率

い

い

何時

い

い

い

稜威

い

い

出

い

伊豆

い

い

入

い

い

い

い

教

い

鑄

い

今

い

い

い

い

大子で物を乾し  
鼠糸云加敷字云伊里却

和録伊加  
鑄鐵形也

古伊麻  
細日

古伊麻  
細日

息

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

一三

和波無部  
伊無侍也  
忌

いひ  
百伊布  
云  
又言

い  
固伊久  
幾

和後郡生葉  
を以久波有  
生

い  
五伊  
往  
行

い  
固伊夜  
彌

いよ

固伊豫

いせ  
國固  
伊勢

い  
國固  
伊賀

三言

いろは  
母國伊呂  
家母

いろせ  
兄固伊呂勢  
家兄

いろせ

弟古  
伊呂  
家弟

い  
父のイオの  
手  
從父兄弟

い  
弟名  
固  
諱

い  
弟  
伊  
你

いのち  
固伊能  
命

い  
伊呂  
命

い  
固伊  
你

息  
男を以て依りし  
固伊基能布臣伊已不

い  
息  
固  
軒

い  
固伊  
缺

い  
魚無射  
和以都曲  
七

い  
聖賢  
小日脱  
伊比保  
以比保  
又以手米  
手足邊  
忽  
又

い  
魚無射  
和以都曲  
七

いたち  
小獸  
鼠

い  
小獸  
伊  
伊

い  
貝  
固  
貽貝

い  
天魚  
固  
魚

い

小魚固伊  
和志固  
鯛

い  
出雲  
土記  
伊  
魚名

い  
挿魚  
固  
魚

い

和以介須註池  
中編竹籠養魚  
御

い  
草固以知比  
今編箇為行  
箇

い  
木固伊知  
氏固固  
赤檮

い

い  
木固伊太  
比固  
折傷木  
又木蓮子

い  
草固以  
奴衣  
香菓

い

い  
草固蓬葉訓伊致  
草姑固覆蓋訓  
和覆盆子訓以知古  
いちびもや

い  
覆盆子

い  
湯菜  
固  
海

い  
海底石  
固伊  
久理  
固固

い  
細石  
固伊  
砂

い  
高  
大  
固  
伊波保

巖 石屋 窟  
 いはや 石屋 窟  
 いほり 舊居 窟  
 廬 舊居 窟

神籬 齋 離  
 いづみ 出水 泉  
 いそか 伊良加 薨  
 いかり 伊加利 破

いかだ 和以 筏  
 いばゆ 馬鳴 田  
 いがた 和伊加 鋸  
 いひら 和伊 鞍馬

和伊 杏葉  
 いばゆ 馬鳴 田  
 いがる 和伊 怒  
 いさ 和伊 破

戦船 軍  
 いざむ 伊 挑  
 祈 又 禱  
 いが 和伊 巖

紀怡破毗 伊  
 いのる 伊乃良波 加  
 祈 又 禱  
 いが 和伊 巖

又 車  
 いやー 伊伊也 賤  
 いま 伊 暇  
 いむ 伊 數

和伊 伊都 和五  
 五  
 いやま 伊伊 暇  
 いむ 伊 數

獸  
 いづれ 和伊 何  
 いかん 和伊 如何  
 いづく 和伊 數

出  
 いた 和伊 痛  
 痛  
 いまだ 和伊 未

いぬる 和伊 往去  
 いま 和伊 彌  
 いそ 和伊 未

固伊 哭  
 いさむ 和伊 勇  
 伏羊 諫  
 いそ 和伊 未

固伊 哭  
 いさむ 和伊 勇  
 伏羊 諫  
 いそ 和伊 未

固伊 哭  
 いさむ 和伊 勇  
 伏羊 諫  
 いそ 和伊 未

固伊 哭  
 いさむ 和伊 勇  
 伏羊 諫  
 いそ 和伊 未

固伊 哭  
 いさむ 和伊 勇  
 伏羊 諫  
 いそ 和伊 未

固伊 哭  
 いさむ 和伊 勇  
 伏羊 諫  
 いそ 和伊 未

固伊 哭  
 いさむ 和伊 勇  
 伏羊 諫  
 いそ 和伊 未

固伊 哭  
 いさむ 和伊 勇  
 伏羊 諫  
 いそ 和伊 未

固伊 哭  
 いさむ 和伊 勇  
 伏羊 諫  
 いそ 和伊 未

いづも 國、和 出雲  
いずは 國、和 出羽  
いずさ 遠江

和伊奈佐神武紀哥  
伊那瑤ハ大和  
引佐  
いそび 和伊奈佐 石木  
いそふ 丹波、和 石生  
いひほ

播州郡、和伊比保  
揖保  
いそほ 中伊比保  
いそわ 信濃、和 竿井  
いくれ 越後、和 石生

武藏、和伊奈保  
稻直  
いそわ 信濃、和 竿井  
いくれ 越後、和 石生

勇禮  
いひの 和伊比保  
いそわ 信濃、和 竿井  
いかの 和伊比保 生野

筑前、和伊黒  
生見  
いくは 淡路、和 育波  
いかの 和伊比保 生野

四言  
いづち 和伊比保 雷  
いそづま 和伊奈保 電

伊那那岐伊那那義細  
いづるが 和伊比保 何鹿  
いへば 和伊比保 妹  
いかるが 和伊比保 班

鳥、和伊比保  
いづるが 和伊比保 何鹿  
いへば 和伊比保 妹  
いかるが 和伊比保 班

鳥、和伊比保  
いづるが 和伊比保 何鹿  
いへば 和伊比保 妹  
いかるが 和伊比保 班

鳥、和伊比保  
いづるが 和伊比保 何鹿  
いへば 和伊比保 妹  
いかるが 和伊比保 班

鳥、和伊比保  
いづるが 和伊比保 何鹿  
いへば 和伊比保 妹  
いかるが 和伊比保 班

鳥、和伊比保  
いづるが 和伊比保 何鹿  
いへば 和伊比保 妹  
いかるが 和伊比保 班

鳥、和伊比保  
いづるが 和伊比保 何鹿  
いへば 和伊比保 妹  
いかるが 和伊比保 班

鳥、和伊比保  
いづるが 和伊比保 何鹿  
いへば 和伊比保 妹  
いかるが 和伊比保 班

鳥、和伊比保  
いづるが 和伊比保 何鹿  
いへば 和伊比保 妹  
いかるが 和伊比保 班

鳥、和伊比保  
いづるが 和伊比保 何鹿  
いへば 和伊比保 妹  
いかるが 和伊比保 班

鳥、和伊比保  
いづるが 和伊比保 何鹿  
いへば 和伊比保 妹  
いかるが 和伊比保 班

鳥、和伊比保  
いづるが 和伊比保 何鹿  
いへば 和伊比保 妹  
いかるが 和伊比保 班

鳥、和伊比保  
いづるが 和伊比保 何鹿  
いへば 和伊比保 妹  
いかるが 和伊比保 班

古語

陸

いもがら

加良草以毛和之イモ 荻

いばぐみ

草イ久和義イ

古伊波 卷柏

いふき

頭上イ伊波 頂イ 大皮イ豆和同イ

いたき

山頂イ剛和嶺イ 以大イ後和

いばぐえ

久イ廠和 岩崩

いざと

柱下イ和和都和茂イ 以之イ以之和須和惠イ

礎

のち 知イ之和乃和知イ注和出イ 俗中イ國和英和賀和郡イ 鍾乳

いちぐら

市香イ和和久和良和 肆

いふき

和以イ大都和收和注イ 今之イ戲和射和箭和 平題箭

いたつき

帝イ捨和遣和守和集イ 上のイ平和机和を和は

いりもの

内イ膳和和和 以イ利和毛和

いそしき

紀伊イ和和思和流和組和支和指和実和盛和同イい ざほイも和依和保和の和約和曾和ふ和て和日イ 功勲

いほへ

豆イ久和利和 以イ力和奈和年和と和訓イ

いやらこ

知イ以和耶和 知イ奉和 灼然

いぢぢむ

豆イ久和利和 以イ力和奈和年和と和訓イ

いば

伊等保旨弥

いたづら

豆イ豆和良和 徒

いは

る 伊豆 偏 又 俵

いぶせー

勢イ夫和 勢イ夫和

蔚悒

いぶかる

いば 不審イ以和彦和も和焼和振和より 出イつ和訓和の和免和や和成和八和村和こ

いざさし

比イ國和同イ 誘

いさよ

いば 固伊佐 猶豫

いよか

伊イ木和長和黄和 伊イ与和人和加和

いそが

いば 勤イも和同和意和 閑

いへども

毛イ剛和同イ 雖

いはむや

いさかひ 固伊佐 須良イの和約和佐和加和や和許和又和か和よ和ふ和

いさか

伊イ登和 例イの和况和

いさか 固伊佐 聊

いさか

伊イ佐和 卒和爾和

いさか 固伊佐 揖宿

いさか

伊イ比和之和呂和 邑

代

いさか

伊イ比和之和呂和 邑



五言六言七言

いらつひ先いらつひ先

家女つ八助語國異郎姫又郎女

從父兄弟

の子和伊再從兄弟

いきすだま和伊岐須太

窮鬼

いしき索

いらりいらり幼

いぼむ志りいぼむ志り

虫和伊比保年志

利和以保無之利

螳螂

いさこまる虫和以奈古万呂

虫和以奈古万呂炸蝻

いさまやり冠辞國異舎

儼等利和日

勇魚取

いすぐぼ冠辞固伊須久波斯

いあやがひ和伊比保年志

木和伊比保年志

文蛤

いは

つと木和以波豆今之又毛知豆今之

羊躑躅

いらくぐさ草和伊良今久佐

羊桃

いへつれも和以用都毛

芋

いんぐすり草和以波久須利又須久奈比古乃久須利

石

蕨

いは乃か草和以多知久

草和以波乃加波又

石草

いさちく雷光和伊奈比加

さい利又伊奈豆流比又伊奈豆可

電

連翹

いさびかり保流國万小同又伊支土呂志

憤

いら和伊知

灼然

いさほ和伊須能

石上

速和

嚴捷

いら和伊知

灼然

いちほや和伊須能

嚴捷

いほ和以波之岐注建大木

旛

いら和伊須能

嚴捷

いほ和以波之岐注建大木

旛

いら和伊須能

嚴捷

かば伊勢不在五十鈴川

いづ和以波

射架

いも和以波

宮

いも和以波

いも和以波



古語

つ 純珍訓

ち 氏山城郡宇治小借て書り

人 捕魚竹置

へ 又氏

ち 山城郡

宇治

ひ 古語

初

人

笠

へ

上

人

火 古語

話

三言

う 重の髪と重

髪

は

後夫

う

項 頸後

う 鳥

鶉

う 鳥

う 鳥

う

う 古語

潮

う 知波

う 知波

う 知波

う 知波

う

和手麻帥又于魔伊和宇座依岡をのゝま味をなすを万るあゆみよまふまふを可美又自

和語

う 貴上

訴

う 詠

う 詠

う

か 万由約無

産

う 三

う 憂

う 憂

う 憂

う

強て取

奪

う 上野郡

う 碓氷

う 甲斐

う 表門

う

四言

う 古語

後妻

う 鳥

う 鳥

う 鳥

う 鳥

う

馬 馬飼

典馬

う 農具

馬 杷

う 衣

う 衣

う

馬 萬比

う 万

う 万

う 万

う 万

う 万

う

古語林

うやまひ 仙足石哥 宇夜 麻比豆 國礼比 恭 又敬 うるは 古宇流波 斯國五百 養

るほひ 國宇留 保須 潤 又温 うー糸 三代実録 失比 失

づ 語國宇豆茶 比國宇豆乃比 うつろ 古本神樂哥同 移 うか うが

い 國宇波久 國于介 伽甲豆 國宇加 介不 窺 又伺 うちはへ 打延 新打 打 うつま

さ 氏又山城地名 國秦 刺鳥 豆麻佐 又鳥豆母利麻佐 うる 上總 國 宇比豆 濕津

布乃 此 生 野 比不 疑 うら 命

うま 野菜 國宇 未不 岐 牛蒡 草 國宇 末支太之 鱧腸草

五言 至十一言

うはた 國衣上 副也 宇波於曾比 褊 和宇倍乃 岐奴 註 著襦之 衿衣也 袍

うつは 和瓦器 須惠 宇都波毛乃 罌 宇豆ハ 國鳥豆麻佐 國宇豆乃 弊鳥おや云 宇豆小 國今本

のひ 草 石籠葛 國宇乃比 太比 國同 國又 大豆乃比 石籠 國宇乃比 太比 和布加豆 義 國同 うはら 鞍馬 國宇 波良 具都和 蒺藜 銜

ま 和宇比 太 非能 宇林 戴星馬 木 國宇久 比 須乃以 比 祢 又久 佐 五乃 祢 恒山

うま 官名 和宇多 倍多 介 須都加 佐 又伊 未比 乃豆 加 佐 雅樂寮 うたへ 多

つか 官名 和宇多 倍多 介 須都加 佐 又伊 未比 乃豆 加 佐 刑部省 うま ら

ふる 和干 覽羅 你 烏 野羅 申 摩 柯 佐 義飲 喫哉

和宇多 倍多 介 須都加 佐 又伊 未比 乃豆 加 佐

和宇多 倍多 介 須都加 佐 又伊 未比 乃豆 加 佐

古言

十三

○惠部 惠、云以ハ和行、カ派、キをふまよてふ、  
華、より此行のえのめ、也、行、一、不、り、

一言

惠、衛、回、限、穢、會、繪、音、

咲、餌、訓、

二言

惠、ぬ 獸、和、惠、犬、  
奴、又、奴、

惠、ぐ 菜、類、鳥、草、の、  
小、者、一、万、惠、具、

惠、み 草、一、字、惠、弥、又、安、方、奈、和、  
於、保、惠、義、又、夜、未、惠、義、 黄、精、

惠、み 古、惠、義、和、  
惠、麻、波、之、 笑、

惠、ひ 酒、ふ、ふ、か、り、  
古、惠、比、和、 醉、

惠、る 刻、一、仏、足、石、哥、惠、利、  
空、則、久、自、利、惠、苗、

和、鈴、を、加、維、  
布、良、惠、利、

惠、り 能、登、之、  
和、惠、曾、 越、蕪、

三言

惠、り 和、惠、刀、利、  
也、或、説、今、の、惠、多、也、云、者、ハ、此、惠、刀、利、の、持、依、也、一、リ、 屠、兒、

惠、り 犬、の、子、和、獨、尾、草、を、  
惠、奴、乃、古、久、仇、也、有、 承、

惠、く 人、笑、時、煩、小、見、  
者、和、惠、久、保、 壓、

惠、く 空、出、気、息、心、呻、  
吟、惠、奈、久、 尿、

惠、く 味、和、  
惠、久、之、 醜、

惠、ら 阿、波、口、  
和、惠、久、利、 殖、栗、

惠、ら 笑、一、万、惠、良、惠、良、亦、固、  
為、樂、又、咲、樂、固、惠、良、良、 悦、嚏、

字、書、唯、者、  
大、笑、也、

四言

惠、み 草、一、和、惠、義、又、  
仇、又、安、蘇、奈、 女、葳、蕤、

六言

惠、ぬ 草、和、惠、奴、  
乃、古、久、仇、 狗、尾、草、

古言





古言抄

をみ奈へ

之古今物名和日

草、和、平、兼、奈、殿

娘部志

をやく

草、和、平、刀、平、日、之、赤

箭

をかや、き

草、和、平、加、土、今、岐

符、菴

をかつ、ト

木、和、平、加、豆、今、之、又、仁、豆、今、之、茵

羊

をさ、こ、ば、ら

和、橋、梁、之、尤、右、之、柱、平、刀、古、柱

幢、柄

をさ、む、る、つ、か、さ

官名、和、平、佐、年、苗、都、加、佐

治部首

をさ、つ、く、る、つ、か、さ

官名、和、平、佐、米、豆、又、苗、都、加、佐

修

理職

加部

一言

加、哥、架、嘉、迦、伽、可、河、何、荷、珂、柯、舸、軻、訶、歌、甘、間、箇、介

賀、清音

我、俄、娥、峨、餓、鵝、雅、濁音

二言

かほ、人の面、和、可、保、和、麿、面、を、加、保、波、世、又、保、豆、岐 顔、和、万、安、比、目、同、

かい、虫、和、加、伊、刺 のい、舟、和、更、和、櫂、加、伊、刺 櫂

かひ、海、和、物、和、固、貝、加、比、和、固、貝 貝、和、虫、和、加、比、同、固 峽、和、加、比、同、固 顔、和、加、比、同、固 顔

のひ、海、和、物、和、固、貝、加、比、和、固、貝 貝、和、虫、和、加、比、同、固 峽

かひ、和、虫、和、加、比、同、固 峽、和、加、比、同、固 顔

かひ、和、鳥、和、歌、和、加、比、同、固 飼、和、加、比、同、固 飼

かひ、和、物、和、加、比、同、固 飼、和、加、比、同、固 飼

ひ、和、食、和、加、比 匙、和、加、比 匙

かひ、和、加、比 甲斐、和、加、比 甲斐

かひ、和、加、比 かひ、和、加、比 かひ

かひ、和、加、比 飼、和、加、比 飼

かひ、和、加、比 飼、和、加、比 飼

かひ、和、加、比 飼、和、加、比 飼





のちのち  
おちのち

賀奈信 金と未路賀奈信 鑿

かはる 同可倍吉本佳馬樂 替 交更

わづ

く 水中を行く 迎豆岐 同 潜

のをる 香氣 同 香平 乱流 同 加平苗 董 同 柳

わく 同 可 乾 燻

かぞふ 同 可 奈比 同 加 藤倍 數

かよひ 同 可 欲 布 同 本 神 樂 同 日

の奈

ひ 同 可 奈比 同 加 奈不 意 同 寄 日

かのえ 十幹の 金見 庚

の奈

かふち 同 加 不知 河内

かふの 同 加 不知 河内

の奈

河曲 同 加 五 不 近 江 郡 蒲生

かきへ 同 加 五 不 近 江 郡 蒲生

か

を 淡路 同 加 之 子 賀集

かは 肥後 同 加 郡 志 合志

香

推 同 加 奈 布 筑前 同 同 加 奈 布 金生

のほひ 越前 同 加 波 比 川 合

のほひ

四言

かみたつ 雷の落 同 加 義 豆 同 加 義 刀 介 霹靂

のぢやり 同 加 地 刀 利 攝師

か

いのね 肩の下 同 加 伊 加 祢 甲

かはむ 波無 同 加 烏毛虫

のほ

り 虫類 同 加 波 保 利 蝙蝠

のまづか 小魚 同 加 未 豆 加 鮎

かぎるひ

かぎりひ 又 大 影 又 朝 夕 の 日 氣 又 捲 糸

かぎりひ 蜻蛉 同 加 字 借

のほたけ 同 加 比 略 久 船

かほほね 加 波 保 利 草 同 加 骨 達

のひろぐ 同 加 比 略 久 船

のほたけ

かうぶり 同 加 布 利 冠

のらけ 同 加 比 略 久 船

か次が

ひ 門戸 同 加 録 加 須 加 比 同 加 録 同 阿 介 賀 須 加 比

かせづゑ 同 加 警 都 鹿 杖 首 杖

のらぶを

古語抄

打義具阿  
加良佐平 連加

布 依布の物須  
かてかくはり 隠

和臨助也加太  
波良保祿也訓 傍

之備 悲

かぐはし

のむらひ

かい奈へ

のあらび

かいがや

城

かばののみ

のたつぶり

かぐはし  
查渡之阿加志破志阿  
同 常云かいばし

のむらひ  
かたらふ  
くさへる  
多良比

かい奈へ  
古加賀那  
倍細同

のあらび  
いふ假令あん  
い不在

かいがや  
上野之阿  
加い加也

五言 至八言

河伯

のたつぶり  
虫之阿加太豆不利  
同 日

馨

相語

考

かづらさ

のさせり

のはびらこ

かつをむし

のくさふ  
苦伏

かたはら

のちしび  
かか  
うさ  
い

かづらさ  
大和郡固加豆  
良紀同 五日 葛

のさせり  
讀はつ阿  
加伏平利

のはびらこ  
飛虫阿加葉  
波比良古 又映

かつをむし  
阿加豆字無之  
未久奈支注

小虫乱  
飛也 蛾 蝶

波夜奈支  
阿加 水揚

の片男浪  
おしハ誤

加波古路毛  
又加波岐奴 表

形如結緒  
加久乃阿和 結果

五可奈  
里見 顧

五可奈  
豆平以呂利 堅魚煎汁

かへりま

のいらふぢ

かほねぐさ

の奈づ奈ね

かぶら煮り

かへりうつ

かみづふさ

のたどげし

かへりま  
まどハ三言か  
まどハ末部不在 賽

葛類阿加  
波良布知 葛莢

草之阿加  
波許久化 女青

阿加鐵索井也  
加奈豆奈烏 桔槔

和百凡鑿之  
加布良惠利 鈴

和雜藝之加  
倍利字都 擲倒

國之阿加  
美豆不依 上總

のたどげし  
國多自  
気茶志 忝

かへりま  
本阿加波  
知伏乃支 賣

木之  
阿加 かはや奈ぎ

阿加 酒 なのをらみ

皮衣 阿加 かはごろも

阿加 類 くのりま

阿加 類 かつをい

阿加 類 かへりみ

阿加 類 かつをい

阿加 類 かつをい

子木

かいらよもぎ草國辛毛支 さらよもぎ草國辛毛支

菊草國辛毛支

のハらよ

もぎ

草國加波 皮与毛岐 白蒿

のほハトかみ

木國加波 波之加美 呉菜萁

から

はあふぎ

草國加良 須安布支 射干

かみ木こー奈

草國加美 奈古 苦苣

かはぐまつら

木國加波 久未豆 豆良又久曾未由美

衛矛

のふかーすのい

ひ

國加太 加之支乃 以此 往半熟飯也

後食饋

○幾部

一言

子

幾支。伎。岐。吉。記。紀。枳。企。奇。寄。綺。騎。既。棄。中。鬼。祈。祗。機。

基。忌。著。嗜。濁音

藝。疑。擬。宜。義。儀。蟻。濁音

二言

キ

鳥も也支我志 枝人頌支之

雉

き次

國幾 受 疵又瑕

きえ

國幾 延

竟宜奇 向吉都 波岐用更 消 中有 様 行 消 消

きは

國波 國髮際 加義 岐波 割

際

三言

夏 實 命 万 葉 字 鏡 字 百 万 葉 字 鏡 字 百 万 葉 字 鏡 字 百

古言林

北一

きはだ 木之圍支 波太圍日 黄蘗

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

四言五言八言

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

きはみ 乾肉之圍 惜 木之圍支 きたひ 木之圍支 針

○久部

一言

く久玖九鳩句約君苦空宮矩俱區衢孔丘 清音 貝愚

寓隅過求郡虞供娛 習音

二言

くば 木之圍俱 破圍日 桑 農具圍支 波圍日 歟 備同利日 葛 古復比 昨 加金屑を

くば 木之圍俱 破圍日 桑 農具圍支 波圍日 歟 備同利日 葛 古復比 昨 加金屑を

くば 木之圍俱 破圍日 桑 農具圍支 波圍日 歟 備同利日 葛 古復比 昨 加金屑を

くば 木之圍俱 破圍日 桑 農具圍支 波圍日 歟 備同利日 葛 古復比 昨 加金屑を

くば 木之圍俱 破圍日 桑 農具圍支 波圍日 歟 備同利日 葛 古復比 昨 加金屑を

くば 木之圍俱 破圍日 桑 農具圍支 波圍日 歟 備同利日 葛 古復比 昨 加金屑を

くば 木之圍俱 破圍日 桑 農具圍支 波圍日 歟 備同利日 葛 古復比 昨 加金屑を

三言

くもわ

固久毛章  
西雲居 雲

くこひ

鳥固久比  
古本催馬子同 鵠

くいそ

鳥人相俱  
正那和日 水

くさわ

水草和  
久和為 烏芋

くひぜ

固久比  
是固日 杜

くぢら

大魚之固久  
治良固和日 鯨

ゆき

牛馬體和  
久波由岐 烏頭

くつわ

馬具和久豆和  
都良又久都和 轡

く

以之利  
解結音

くまぢ

隱路之固  
矩摩進 隈

くらぬ

固久位  
良為位

く

以之利  
解結音

くまぢ

隱路之固  
矩摩進 隈

くづる

固久崩  
豆礼崩

く

以之利  
解結音

くまぢ

隱路之固  
矩摩進 隈

く

固久趾  
自久趾

く

以之利  
解結音

くまぢ

隱路之固  
矩摩進 隈

く

固久趾  
自久趾

く

以之利  
解結音

作

くはふく

言のりや口  
ハカるなり 加

くはへ

筑前之  
和久波倍 秋金郷良

くろへ

伊勢朝明郡  
和久田倍 訓霸

四言

くらうぢ

藏人之穠人とも  
浪字渡々之如

くちふは

虫之固久  
知奈波 蛇

くらたひ

くまのい

熊膽之膽ハ  
以部也乃

くまのい

藥草之固久乃伊又  
加乃介久佐和同 人

くろへ

伊勢朝明郡  
和久田倍 訓霸

くまのい

藥草之固久乃伊又  
加乃介久佐和同 人

くるへ

安藝之固  
久苗倍支 訓寛

くるへ

安藝之固  
久苗倍支 訓寛

五言七言

古言林

穢者  
おろ  
不用

くさねなき	獸ノ野猪 佐為奈岐	くりのいが	栗子皮ノ 久利乃以加
くれのたを	莖類ノ阿波乃 於毛草解其母	くまづら	蔓草ノ 夫豆ノ良
くろのづら	蔓草ノ久 曾加豆良	くさねハセ	和久佐阿波世 月五日ノ草之戲
草	くさもちひ	くだのふえ	征戰具ノ 久太能布衣
薑	くつゝへる	くれのはとかみ	和久礼乃波自加 和日又阿奈波之加
次	くつゝくぼ	くまはらゝか	

古言

九三

○計部

一言

計。介。氣。家。化。邪。奚。難。谿。也。價。秋。音。希。啓。開。階。戒。該。潔。

既。慨。夏。解。下。牙。鼻。倡。宜。擬。礙。覓。凱。愷。愷。豈。

二言 三言 四言

煙	けふ	けい	けぶり
煙日	古邪布 今日	越前固氣 比因司	夫利和日
ひ	けづる	けづる	けハ
けハハ けハハ	流團日 削	髪をけづる 都道加之良介 豆流	
けふた	けづる	梳	
火痛ノ 介布太之	火痛ノ 介布太之		

古言  
け

古言

九四

○已部

一言

已許古。胡。枯。姑。枯。故。居。固。孤。庫。巨。渠。去。莒。舉。虛。據。興。  
高。顧。清音  
吳。誤。娛。五。吾。悟。語。後。凝。其。棊。期。虞。御。馭。湯音

二言

こひ 比和 鯉 比和 こひ 比和 聲 比和 こえ 比和 越 比和 こえ 比和 肥 比和  
こひ 比和 鯉 比和 こひ 比和 聲 比和 こえ 比和 越 比和 こえ 比和 肥 比和  
こひ 比和 鯉 比和 こひ 比和 聲 比和 こえ 比和 越 比和 こえ 比和 肥 比和

三言

こひ 比和 鯉 比和 こひ 比和 聲 比和 こえ 比和 越 比和 こえ 比和 肥 比和  
こひ 比和 鯉 比和 こひ 比和 聲 比和 こえ 比和 越 比和 こえ 比和 肥 比和  
こひ 比和 鯉 比和 こひ 比和 聲 比和 こえ 比和 越 比和 こえ 比和 肥 比和

四言

こひ 比和 鯉 比和 こひ 比和 聲 比和 こえ 比和 越 比和 こえ 比和 肥 比和  
こひ 比和 鯉 比和 こひ 比和 聲 比和 こえ 比和 越 比和 こえ 比和 肥 比和  
こひ 比和 鯉 比和 こひ 比和 聲 比和 こえ 比和 越 比和 こえ 比和 肥 比和

古言

古言

古言



古言林

こひしる 伊勢の古以之呂 漕代

五言六言七言

こまづくり 團已和豆久利 志波不支 欸

こころばへ 意こはへ 延の類

こむ

らがへり 足病古無長加倍 利又加浪頃倍利 轉筋

このてがしほ 木古乃 互加之波 兎手

柏

○九部

一言

九 尤。差。瑳。磋。沙。娑。砂。紗。散。射。作。社。者。草。舍。積。柴。霜 清音

謝。坐。座。藏。邪。裝。裝。奢 濁音

二言

さば 團尤 澤

さば 固依波 紀方同 多

さを 舟具固依 表固同 檣 又卒

さ

え 寒團 九麻 互

やへ 実さへいさへおや のとへあり 固无倍 兼 又並 副

三言

古言林 ⑤

さいえ 貝之困 佐无衣 栄螺子 さいぢ 魚之困 佐比治 鯛 さいえ 玉之困 佐須衣

水 さいぐ 久困 騷 さいづけ 豆気授 さいかえ 固延 さいひ 波利障 さいり 波利日

逆 さいし 曾不 誘 さいへき 氏之困 佐伯 さいば 比之 不也

た 佐渡郡之 雑太 さいはら 筑前郡之 佐波良 早良 さいりま 下總郡之 佐宇野 相馬

さいはひ 破河之 佐波比 澤食 さいひつる 鳥の鳴之 佐比豆 轉

さいはやけ 菜類之 佐波衣介 黄菜 さいかつき 酒器之 佐加都支 不血 さいだ 御之 佐比都惠

て 多天 戲射 さいづち 工而具困 散伊都達 於揆 さいひつち 御之 佐比都惠

さいぶし 加无鳴子 加困 牡鹿 さいひつる さいへつる さいだ 御之 佐比都惠

さいはひ 破河之 佐波比 澤食 さいひつる 鳥の鳴之 佐比豆 轉

さいはやけ 菜類之 佐波衣介 黄菜 さいかつき 酒器之 佐加都支 不血 さいだ 御之 佐比都惠

て 多天 戲射 さいづち 工而具困 散伊都達 於揆 さいひつち 御之 佐比都惠

さいぶし 加无鳴子 加困 牡鹿 さいひつる さいへつる さいだ 御之 佐比都惠

さいはひ 破河之 佐波比 澤食 さいひつる 鳥の鳴之 佐比豆 轉

さいはやけ 菜類之 佐波衣介 黄菜 さいかつき 酒器之 佐加都支 不血 さいだ 御之 佐比都惠

て 多天 戲射 さいづち 工而具困 散伊都達 於揆 さいひつち 御之 佐比都惠

さいぶし 加无鳴子 加困 牡鹿 さいひつる さいへつる さいだ 御之 佐比都惠

さいはひ 破河之 佐波比 澤食 さいひつる 鳥の鳴之 佐比豆 轉

さいはやけ 菜類之 佐波衣介 黄菜 さいかつき 酒器之 佐加都支 不血 さいだ 御之 佐比都惠

て 多天 戲射 さいづち 工而具困 散伊都達 於揆 さいひつち 御之 佐比都惠

さいぶし 加无鳴子 加困 牡鹿 さいひつる さいへつる さいだ 御之 佐比都惠

さいはひ 破河之 佐波比 澤食 さいひつる 鳥の鳴之 佐比豆 轉

さいはやけ 菜類之 佐波衣介 黄菜 さいかつき 酒器之 佐加都支 不血 さいだ 御之 佐比都惠

て 多天 戲射 さいづち 工而具困 散伊都達 於揆 さいひつち 御之 佐比都惠

古言集

五言六言七言

さへのかみ 道神(因)花  
修乃加義 道祖

さばへ奈次

冠神(因)五月  
地を尼磨陪 如五月繩

ささうづらまづ

善類(因)佐那島(因)  
同又(因)狹振着(因) 五味

さるやがせ

苔類  
(因)

佐流乎加世又  
方垣乃古介 松蘿

さいれい

(因)佐々  
礼以之 細石

さやぶきせ

鳥(因)佐夜  
豆(因)土里 調騎

さばあらき

草(因)佐波阿良  
岐又(因)加末(因) 澤蘭

らえやせ

月(因)佐佐良振壯子  
延部(因)在 壯(表)部(因)在

○志部

一言

志士仕之。之師。四斯死。旨。指。始。信。進。新。式。試。此。紫。次。

叱。司。伺。詞。嗣。侍。詩。思。德。施。純。壘。尸。子。矢。矢資。茲。緇。清音

時事辭。清濁  
二音

自慈兒。寺。盡。草。珥。餌。酒音

羊蹄。二字一言  
(因)志

二言

志木(因)志  
比(因)固 推

志海水(因)思保  
字志保(因)豆 潮

志志(因)固  
志本(因) 鹽

志五期(因)和日(因)字  
を(因)成(因)毛(因)記(因)志(因)和(因)年 皴

志車(因)具(因)  
固(因)之(因)知 榻

志古(因)文(因)布(因)之(因)硬(因)利(因)  
又(因)新(因)利(因)

倭文 下つ子の畧園境の頃志里の  
約百の集上の倭文小賤と兼う賤

三言

志久を 前夫之困之太又  
毛切乃乎切古

志いみ 小貝之  
自強和日 規

志みつ 寸み水寸義の約志  
困之義豆古神學詩曰 清水

志こづ 諺之困詰  
志已豆 志

志たひ 古斯多布  
志之多比 慕

志つる 志志日  
志縮 又縮

志うや 夫の父之  
困之宇刀 舅

志づえ 下枝古志  
豆延和日

志ほで 馬貝之困  
之保大 鞍

志へ 志志理  
幣和日 後

志いむ 志志日  
志縮 又縮

志つか 志志日  
志縮 又縮

志は次 年種之累積之後み所志  
と書て義を去る保 十二月

志は次 年種之累積之後み所志  
と書て義を去る保 十二月

四言

志はせ 夫の母和  
之宇刀 姑

志はせ 夫の母和  
之宇刀 姑

志はせ 夫の母和  
之宇刀 姑

志はせ 夫の母和  
之宇刀 姑

五言六言十三言

志はせ 夫の母和  
之宇刀 姑

志はせ 夫の母和  
之宇刀 姑

志はせ 夫の母和  
之宇刀 姑

志はせ 夫の母和  
之宇刀 姑

古言

毛もづぶさ 國入和之 下總

毛びほ 肉骨之 醢

しりく灸茶は 毛里くべさハ

端出之繩 祭祀具之 又注連

よりくちよ里こくやまひ

霍亂 病之和之利与利久

○須部

一言

次 須春周主取素敷州秀珠殊翰酒葛 清音 受授儒孺

聚 濁音

二言

にち 室和 筋 須和 次 次 吸 室須 次 古須受 鈴 又鐸 次 古須

居 日 末 和須惠註 假髮 假髮 次 上德 周淮 和季 次 古須重古本借馬發

次 信濃郡之 諏方 和須波

古言

三言

次小鳥次固須雀

次固須久不巢

次魚次固須次岐國鱸

次受米次和日相末比撲

次固須次末比任

次固須次末比任

質直檢素

次固須次末比涼

次比次末比任

く固須く末比流

次固須次末比不覺

次比次末比任

は國は固須周防

次河次固須菅生

四言

次神号次固須次依

次至次固須次末比陶

次

五言八言

み工次固須次末比繩墨

次津次固須次末比住吉

次蔓次固須次末比忍冬

次草次固須次末比末遂

旋復花

次都次固須次末比末遂

次草次固須次末比末遂

次職次固須次末比少納言

古言林

古言棟

○世部

一言

世。勢。齊。劑。制。西。栖。細。清音

是。筮。噬。濁音

三言

せうせ 古兄世世いひ又長や  
云せうせ、兄人 兄

○曾部

一言

了。曾。層。僧。贈。藕。所。沂。祚。且。祖。則。宗。諸。罇。清音

鋤。叙。增。憎。

俗。賊。茹。序。存。濁音

二言

了は 側 岨

了ひ 了ふ  
固種比固同  
蘇位固曾布 添 又傍

了木 大陽部  
和曾 贈。於

三言

了ほき 固本馬禮曾保  
岐之曾布岐 歷。草

了のふ 固曾能不和日又曾乃  
古本備馬樂蘇曾乃不

園。圃。又延音

了ほ 我之固種  
い之訓固曾朋舟 緒

そふふ そふふ 固藤 那布備

そほづ 山田小寺歌のそほづありしそほづ 固山田曾湯

そかは 讀岐のこ 和曾加波 漁甲

そひ 石比 五曾涯

そびえ そびえ 通 聳

四言

そこまひ そこまひ 固信く疑く 曾巳奈波苗 弊

五言

そへぐるま 和後兼く曾用久流 万々此切休万此 副車

そふのかみ そふのかみ 大和 郡

在添上を曾不乃加表 添丁を曾不乃之毛

○多部

一言

め多。唆。丹。他。枕。栳。當。黨。儂。囊。囊。

太。陀。駄 清濁

娜 乃音

二言

あづ 鳥く固多 豆和 鶴

たい 魚く固太比和 固本催馬樂同 綱 又國

あへ 織物固多 同和 枒

たへ

倍 五多 妙 万安倍 堪 又任 地 通用

たえ 万多 古本催馬樂同

絶

三言

たう久 固今時老女 高太字本 專

あふる 固太 不倒 倒 固歌の死に敬や

たい

古本催馬樂同





へい

加倍須

耕

ふがへ

以難加用之

相叔

たかかひ

戦

たふや

貴

たよひ

漂

あまつさ

たかい

あひたひ

猶豫不定

たは

たは

ふれ

たは志礼

作劇

あは

詭言

あづさひ

携

たけ

辞

五言六言九言

あげのかは

竹の皮 箄

たおきはる

冠辞 多麻

あまの

ねや

玉祖

あちち

五太毛刀保 御

た

かむ奈のうは

乃中波加波

籜

知部

一言

ち

知。智。池。遲。馳。陳。稚。致。耻。擻。筭。

治。地。尼。旄。泥。泥。泥。貳。

膩濁音

三言

ちねも

和知於毛乳母

ちばや

衣服之知波夜禪

ちかひちかひ

加布知哲言

四言

ちりひぢ

字知利比治塵土

ちひさ

百本催馬樂寺知比佐古利和郡又物の名在少日

ちかづく

豆知可

近

五言六言七言

ちはやぶる

冠辭之固知波夜夫流

ちいさきもの

和知比佐岐毛乃住禪無譯禪

ち

ぎりかうふ里

和知岐利加字不利註婦人喪冠

巾

古言林

古言

都部

一言

都通追兔菟鬪屠清音

豆逗途圖徒清音

頭濁音

二言

つば出雲風土記 都波草

石落

つば宇与太利又 豆波志留

唾

つた万豆惠 宇和日

杖丈

三言

つはり宇發始兆 豆波利乃 登支和揮食 豆波利

つむ和牛馬體 都無之

廻毛又旋毛

つかひ古都加比 細日

つと木之宇製を豆々自和 羊躑踏を似波豆々之

使

つかへ細事 柯陪

仕國方 同

つむ和牛馬體 都無之

廻毛又旋毛

つと木之宇製を豆々自和 羊躑踏を似波豆々之

躑細事 柯陪

濁

つく和都 久東

机案

つみ樂書之 古都 豆義細和日

つみ細八十連屬也 野素豆々之

鼓

つむ古豆 多布

集古都 比日

つひ古都 途日

遂

つみ豆比由 費

つた和豆伊岐 筑城

つむ古豆 多布

綴不々上の續々出 不り子れ也 同

つひ和都 途日

つみ豆比由 費

つた和豆伊岐 筑城

傳國日 豆多比

ついで續連之豆 礼の節 次

つみ豆比由 費

つた和豆伊岐 筑城

四言

つば和都 鳥取食

兵

つま牛病之和 豆方以利

蹠踏然

つば和都 以如

啄

つまいり

蹄躡

つば和都 以如

築塔岐又豆 以比知

ついたち月立

朔

つち土の 戌

つか

古言

三十七

はに 國遣國日 遣 都加播佐礼 つままり つまや 約 数の辞 つくろひ

つ 細豆并羅音 繕 波都久比 つくのひ つくのふ 賃 空豆久乃布 つくろひ

つねさばふ 冠辞 五言六七八言 冠辞 ついたて 支道

らひ 和豆之良比 舐 註歌角 つむいかせ 空豆 つくりなは

のいひ 草 白英 工類 九折 客作兒 つくろひ

乃都 加伏 兵部者 伊比 つくのひ 乃比 つくろひ 官名

○天部 一言 天互。低。底。庭。帝。諦。堤。提。弟。代。題。田。傳。殿。泥。埜。

暹。耐。二言三言五言

てふ 古何々 てをの 工匠 釘

てらふ 賣 街 天良波須 てらつき 鳥 啄 天良豆

木鳥 けら

御

御

御

御

御

御

○登部

一言

登。刀。斗。等。苔。觀。鄧。騰。藤。得。德。渡。妬。屠。清音

土。杜。圖。

度。清濁  
二音

杼。奴。弩。怒。特。迺。耐。濁音

二言

ヤト

老若、少、次、尸、主、五  
之。細。親。自。五。和。日

戸母

ヤを

古登表  
和。日

十

ヤヒヤヒ

古斗比又  
登布和五

問

ヤチヤチ

古本神樂等刀  
知登富等日

開

匣術を刀豆註  
ちんれやも刀豆のまひ日

三言

紀子戸母  
セぬ  
老女死  
まを  
あん  
かす  
ちん  
ほり  
まの俗

登部波  
みは  
約

ヤビを

飛魚之字  
和日

ヤミ

和鳥  
居 神門

ヤキ

因等  
波 常般

ヤのい

方侍宿者  
ヤ云為の偏字 宿直

ヤも

常色字を用  
江次筆類繪

ヤホ

ヤウ

方刀余布  
字和日 唱

ヤフ

和登富  
人七刀良倍比刀 捕

ヤケ

古登遠  
遠和日 撓

ホ

古登富  
斯和日 遠

ホ

古登富  
勝保辱等室利 通

四言

ヤシ

和准南子云  
射天而飛刀保奈介 遠射

ヤモ

和刀毛都奈  
繩無奈 纜

ヤシ

和登富  
和刀乃不 調

ヤモ

和紀刀毛余倍  
三代史録共奈 伴

ヤフ

和登富  
和刀乃不 訪

ヤニ

和等處  
七ニ一 長

古言

ヤニヤハ  
ヤニヤハ  
ヤニヤハ  
ヤニヤハ

ヤニヤハ  
和名石割刀已  
刀波五等登婆

ヤニヤハ  
五等毛之  
備田 燈火

五言六言八言

ヤニヤハ  
和名保  
豆族夜 高祖父

ヤニヤハ  
和名良倍比刀  
和名良倍比刀 囚人

ヤニヤハ  
和名利  
阿波世 關雞

ヤニヤハ  
草名固登ノ  
許名三良 解蔓

ヤニヤハ  
和名保  
一ノ小日 長

ヤニヤハ  
五等騰  
已保里 滯

ヤニヤハ  
和名保  
都安布敷 遠江

ヤニヤハ  
和名保  
長江ノ 通熊

ヤニヤハ  
和名保  
都安布敷 遠江

ヤニヤハ  
和名保  
都安布敷 遠江

ヤニヤハ  
和名保  
都安布敷 遠江

ヤニヤハ  
和名保  
都安布敷 遠江

ヤニヤハ  
和名保  
都安布敷 遠江

ヤニヤハ  
和名保  
都安布敷 遠江

ヤニヤハ  
和名保  
都安布敷 遠江

ヤニヤハ  
和名保  
都安布敷 遠江

○奈部

一言

奈南難。難。那。娜。乃。

二言

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

三言

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

奈人  
和名初生  
因奈倍田 苗

古言

奈へぐ 足病之困所之  
奈閉又那閉久  
賽

易  
かつ奈 菜類之奈豆奈  
和同字又波為  
驚

はて 和奈八天  
田間道  
蝦

は 津國之古那  
奈加衣 轅  
難波

は 津國之古那  
奈加衣 轅  
難波

奈はせみ 虫之奈波世義  
雌蟬不能鳴者也  
炸蟬

は 津國之古那  
奈加衣 轅  
難波

は 津國之古那  
奈加衣 轅  
難波

四十

かまづ 魚之奈  
和同字  
鯨

奈まわ 水草之奈  
和同字  
澤寫

奈ほり 衣服之奈須豆分古  
毛又奈保之能古も  
襦衫 又直衣

奈らひ 讀岐之奈  
奈良比  
成相

奈らひ 讀岐之奈  
奈良比  
成相

かたぐち 虫之奈  
和同字  
蚰蜒

奈らひ 讀岐之奈  
奈良比  
成相

奈らひ 讀岐之奈  
奈良比  
成相

ひ 和奈里波  
比和同  
業

かほらひ 和奈里波  
比和同  
業

かほらひ 和奈里波  
比和同  
業

かほらひ 和奈里波  
比和同  
業

かほらひ 和奈里波  
比和同  
業

かほらひ 和奈里波  
比和同  
業

かほらひ 和奈里波  
比和同  
業

かほらひ 和奈里波  
比和同  
業

かほらひ 和奈里波  
比和同  
業

かほらひ 和奈里波  
比和同  
業

かほらひ 和奈里波  
比和同  
業

五言

奈まえのき 木之奈  
和同字  
荊

いかり 無之  
代和同  
蔑

いかり 無之  
代和同  
蔑

いかり 無之  
代和同  
蔑

いかり 無之  
代和同  
蔑

いかり 無之  
代和同  
蔑

いかり 無之  
代和同  
蔑

いかり 無之  
代和同  
蔑

古言



○爾部

一言

爾。徐。述。二。仁。而。耳。珥。貳。尼。柔。

二言

にト 五上野尋奪 虹

小ほ 水鳥。固。述。本。抑。理。五。同。又。古。及。本。抑。理。珥。倍。利。字。和。介。保。鶴。鳴。

小は 古。述。波。和。同。 庚 鳩

にハ 五。海。上。の。静。あ。る。と。介。波。せ。る。乎。あ。を。在。不。得。

小へ 和。耳。倍。和。同。 苞苴

にひ 古。介。比。和。同。 新

小ふ 大。和。又。越。於。郡。固。不。 丹生

にふ 安。藝。遠。江。安。室。二。和。介。布。 壬生

三言

にえ 小。ひ。や。ひ。 煮

氏の生  
中今ふ  
おやふ  
おやふ  
中今ふ

小きみ 瘡。類。之。和。述。岐。義。今。に。き。ひ。や。ふ。し。日。 痊

にかほ 和。介。加。波。註。葦。中。皮。作。之。 膠

小ほ 和。介。保。比。又。介。保。比。又。介。

甘遂 草。之。和。述。波。曾。又。仁。比。曾。

にハビ 瘡。火。之。和。述。波。比。 燎

小ほ 和。介。保。比。又。介。保。比。又。介。

○餘光之轉して後  
声も香も云

小は 和。介。波。可。陸。性。同。 俄

にいた 上。野。郡。固。介。比。多。和。介。布。大。陸。真。郡。固。介。比。大。 新田

四言

にほかり 二。言。小。出。 鷓鴣

小はづ 虫。之。和。仁。波。豆。々。 地膽

にっ 和。介。比。那。同。

木和仁豆々之  
又呼加豆々之

小はくさ 草。之。和。述。波。久。伏。 地膚

にひ 和。介。比。那。同。

新嘗 飲。物。之。和。述。於。毛。比。又。豆。久。利。義。豆。 漿

小ぎ 和。介。比。那。同。

賑 常。陸。郡。固。述。比。婆。理。和。同。珥。比。慶。利。 新治

に 越。中。郡。和。述。布。加。波。

にひばり

新治

に

新川

五言六言

おはつざり

鳥之固余波  
都登理同

雞

にひまぐさ

草同仁比万久  
佐又神阿依義  
簡止如

にハぎくら

木之和途波佐  
又良又波之加

朱櫻

おはたづみ

万奈波多豆義  
和同註雨水之

おはくかぶり

小鳥之和余  
波久奈布里

鶴鵠

○奴部

一言

ぬ

奴。怒。奴。奴。農。濃。  
農濃二字古ハ奴の假字之和名也  
のハ乃の假字ヲ用ハ誤

二言

ぬえ

鳥之固奴延有奴  
要子鳥字和同

鷓

ぬひ

奴布  
和同

縫

三言四言

ぬ奈は

水草之古奴  
那波和同

萼

ぬかづく

頭もて比を突之和同  
頭虫を奴加豆支無之

額突

呼頭

○祢部

一言

祢補年尼泥泥佞温

三言

祢ずみ

小獸ノ相祢須美  
古本僅馬樂野目  
鼠

祢らひ

ねらふ  
伺候之  
祢良比

祢がひ

詔願  
整流  
願祢可此  
願

祢ぶる

眠

五言七言

祢ぢけびや

ぢけハ辞倭人  
オテ加礼約

祢ぢみもちのき

木ノ相祢須  
義毛知乃更  
棟

○乃部

一言

の乃迺能

三言

のづち

毒虫ノ團  
乃豆知  
蝮

のらえ

野苺ノ團  
乃良衣  
蘇

のまき

相乃和支乃加暴  
世ハ夜知

風

のこひ

團乃已不團手巾也  
古比 常ニハぬぐふヤ  
拭

のろひ

のハ祈ノ事  
ろハ辞  
咒咀

四言

のたまひ

告辭ノ團倭  
乃大方不  
宣

のいけみ

養類ノ相乃以須義  
相禮而所生也

言部

言部



はひひ伏て行つて伊波比又波布 匍匐  
 はひ虫の如く波賦又波布 岐行  
 はひ草木の延草木の波ふ

三言

はだへ和波膚大倍  
 はがひ野の羽我比羽交やよめる多  
 ほり魚針魚平又与呂豆

はつほ新稻を穂初穂  
 ほか木朱櫻木  
 ほり魚針魚平又与呂豆

幅の  
 献  
 はつほ  
 まい  
 はつき  
 名

ほこ鼠麴文徳菓子草  
 ほき草荊荊  
 ほへ古ぎ

笄和は和丸波棟又太流岐  
 伯耆國  
 は和ふ布埴生和波  
 は和か初始又初  
 は和か初始又初  
 は和か初始又初

は和は和は和は和  
 はら和ひ和は和は和  
 はら和ひ和は和は和  
 はら和ひ和は和は和

はら和ひ和は和は和  
 拂能登羽能登咋能登  
 は和ふ能登

祝人上野  
 祝人上野  
 祝人上野

はい山城知伊伊之伊拜志伊  
 羽床羽床  
 はい和た和林田和

四言

は和く和そ和黒子和  
 ぼら和わた和賜和  
 ほ和

に和わ和り和半月和  
 ぼら和は和ら和は和ら和  
 半和月和

は和ふ和づ和ら和牛索和  
 ぼら和は和ら和は和ら和  
 牛索和

古言標

虎 **は、ぐり** 草之困波 木久里 **貝母** **はまゆふ** 草之困波 才將八島部子 **は**

ト **かみ** 草之困波 加義 **薑** **ほまび** 木之困波 未波非 **蔓荊** **はまかれ**

困波和 賀礼 **歴齒** **はいずみ** 膠漆具困 波伊須美 **掃墨** **はづが** 可之 力波豆 **恥**

**ほうぶり** 花之困波 草之困波 義衣新麻金波夫良波やうまふふ正解七故之はぶりと延

**はぶぞの** 山城之困波 布理 會能困波布理能 **祝園** **はいはら** 遠江郡困 波伊良良 **素原**

五言六七八言

**は、きぼ** 困ハハ 支保之 **彗星** **はたたり** 虫之困波 本村里示 **促織** **は**

**へはらひ** 傳治具之困 波閉波良飛 **白拂** **はづくる** 困波都久呂比 波伊良良 **取** **は**

**ひまゆみ** 木之困波 比未由美 **杜仲** **はらのふえ** 戦の具之困 波良乃布延 **大角** **は**

**ちひのひ** 和波知須乃波比 寄持本乃白支 **菘** **はひもやほる** 困波加利 乃所毛之

困波比母登富呂布又波比母登富理困異波 比茂等倍離困伊波比も等保理 比発茂 **匍纏** **はかりのたも**

**權衡** **は、たのたほぢ** 困波今加太乃 波伊地困 **外祖父** **は、か**

**たのほ** 困母方乃波々 困母方乃波波 **外祖母** 於婆大母の答よりて故の假定ニ公母の 兄方を平治子登やまハ小父小母の義

故子争の假字ニ まやふよふかれ







不部

一言

不不布。副扶負。敷。浮甫。輔。賦。府。俯。符。赴。清音

夫。父。示。

步。霧。驚。部。浮音

蜂音二字一言

二言

ふぢ布。連。葛。藤

ふ下敷。河。郡。又。山。名。之。困。浮。志。富士

ふえ肥。府。曳。笛

三言

ふぢ奈草。之。困。不知。奈。蒲公草

ふみ肥。府。保。詔。茂。利。困。布。敷。賣。流。又。敷。布。里。望。利。保。保。

半註花部  
將同

ふるいふるふ

篩竹。置。困。豆。不。苗。不。和。布。比。

ふ能。登。郡。不。布。志。

鳳至

ふたか長。門。口。之。困。布。多。為。二處

ふげ濱。の。名。又。人。の。名。吹飯

四言

ふくる鳥。之。困。不。久。呂。不。泉困。碼。

ふつけ捕。魚。之。困。不。志。豆。介。乃。木。困。布。之。都。介。霖

ふき

かは鍛。治。具。之。困。布。岐。加。波。常。に。云。ふ。い。ご。鞆

五言

ふちよろ五。布。李。与。曹。比。困。日。五。布。か。ざ。り。や。ま。里。之。義

ふちさ喪。服。之。困。不。知。古。路。毛。

綾

ふぢば草。之。困。布。知。波。加。万。蘭

ふみに困。不。志。余。志。苗。踏

古語林  
ふぢば  
ふぢ奈  
ふぢ  
ふぢ  
ふぢ

古語林

古言

閉部

一言

へ 返。閉。敵。幣。敵。幣。篇。遍。霸。陞。珮。背。沛。杯。輦。鞞。清音

便。辨。別。倍。陪。濁音。の。濁をえの

三言 四言

へつひ 古本神樂言 刀与及都比 竈

へつらひ 字及豆良不 不實言也 詭 又諛 議

保部

一言

ほ 保。褒。本。寶。富。明。費。報。譜。良。菩。清音

允。煩。令。濁音

二言 三言

ほ 和保々註面 旁目下也 頰

ほえる ほし 歌戸一團 和保由 嗥 又吼 吠

ほづえ 古本都延 細五回 末枝

ほい 乾飯之空加礼伊比 又 保占比和保三以比 備 又 備

ほ 乾内之和 保之今 脯

ほのち 大秀又火 の穂 焔

ほいた 保伊多 穂北

四言

保部

ほづき

草(和保)

酸漿

ほづつら

葛草(和保)

百部

ほし

又老漿  
を

乾魚(和保)

脯

ほしいの

ほし

須介乃平又保々  
似加討

綾

五言十一言

ほしが

ほ

木(和保室我)

厚朴

ほう

ほう

ほう

ほう

ほう

官名(和保宇之方)  
良比乃八豆加伙

玄蕃寮

末部

一言

ま

萬日

満馬

麻

摩

磨

磨

二言

まい

黒牛(和麻伊)

烏牛

まい

古麻肥

幣

まい

まい

古麻比和

舞

へ

西麻幣

前

おづ

續紀先皇先皇

まい

まい

まい

まい

まい

三言

まよわ

貝(和石)

石火螺

まよわ

古本神龜

圓居

まわ

まわ

まわ

まわ

まわ

の条に在

の条に在

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

古麻章久礼廻り  
古麻章久礼廻り  
古麻章久礼廻り

まうでまうづ  
まうでまうづ  
まうでまうづ

馬出古本備  
馬出古本備  
馬出古本備

まの  
まの  
まの

古麻章久礼廻り  
古麻章久礼廻り  
古麻章久礼廻り

まうでまうづ  
まうでまうづ  
まうでまうづ

馬出古本備  
馬出古本備  
馬出古本備

仏足石哥  
麻字佐岸

曰

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

圓液奈  
知利麻  
我比

万賀布

紛

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

四言

まいらむ

万麻周羅  
仏足石哥

丈夫

おぼ

継母

まら

まの  
まの  
まの

撮人の  
撮人の  
撮人の

客

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

同註眼尾  
同註眼尾

毗

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

同註眼尾  
同註眼尾

黛

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

同註眼尾  
同註眼尾

俎

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

同註眼尾  
同註眼尾

厭

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

同註眼尾  
同註眼尾

墮順

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

同註眼尾  
同註眼尾

擬

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

まの  
まの  
まの

五言十言

五言十言

まじきづら

固末口万宇之鞋靴  
故司射中富家

司格

まじきづら

真菜苗之固  
摩无兼匠雅

おつはりのうへのきぬ

衣の名入和方都波  
之乃守倍乃岐奴

縫掖

○羨部

一言

み羨。彌。瀟。未。味。尾。微。彈。寐。民。

二言

祥理と  
みつとみ

みつ

古羨  
固同

水

みづ

固弥  
固同

瑞

みづ

ワキきあり固  
羨部固同

推

み

水のゆきか  
固羨子固水脈

脈

能布許  
比

水脈

みわ

酒とかみよる墨と云  
固神酒とあけハ  
固神酒とあけハ  
固神酒とあけハ

瑞

みづ

固神酒とあけハ  
固神酒とあけハ  
固神酒とあけハ

推

み

固神酒とあけハ  
固神酒とあけハ  
固神酒とあけハ

脈

みわ

大和  
固同

三輪

みえ

古羨延  
固同

所見

二言

古言

み

みづば 水神和義 都波和同 因象 又魁

みつち 上小日和 義豆和 淵 又 みるち 龍義和 義豆和

蛟 古義豆羅和 日同 屈義之 髪 又 み、寸 中、國除、交和 古本催馬堂同 中、胡

みつを 馬具和 義豆和 鎧靴 又 みきは 水際之際 義部在 汀 和義 仗 みさと 古書 小ハ

ち 山足百寺 弥蕪知未利の知ハ豆の結るて三十つ餘ハ續後起屋張連演全がらも今知万利ヤク

三十 得 みかは 國、和 義加波 矢多河

みづから 續起身 都可良 自

みのわた 藏府義和 義乃和太 三膳

四言

み、ちひ

室耳、志 比和同 藝耳

幕拍連 著者也 咲

和義豆 加岐 瑞籬

和義都守 湖

和義豆 加林 水銀

み、づく 鳥、和都久 又義、都久 木免

みづかき 和義豆 加林 水銀

みづがき

みづのえ 水の 和 壬

みづぶ、き 草、和 水 不、支 茨

みをづ、く

つばかり 和義豆波加利 常云みづをハ 準繩

みづぶるひ 僧坊具、和 義豆布流比 澆水

裏 和義豆波加利 常云みづをハ 準繩

みちのわ、く 國、和 義知乃久 和義知乃於久

みづく、く

みづかき

み、づく 鳥、和都久 又義、都久 木免

みづかき 和義豆 加林 水銀

みづがき

みづのえ 水の 和 壬

みづぶ、き 草、和 水 不、支 茨

みをづ、く

つばかり 和義豆波加利 常云みづをハ 準繩

みづぶるひ 僧坊具、和 義豆布流比 澆水

裏 和義豆波加利 常云みづをハ 準繩

みちのわ、く 國、和 義知乃久 和義知乃於久

みづく、く

みづかき

み、づく 鳥、和都久 又義、都久 木免

みづかき 和義豆 加林 水銀

みづがき

みづのえ 水の 和 壬

みづぶ、き 草、和 水 不、支 茨

みをづ、く

つばかり 和義豆波加利 常云みづをハ 準繩

みづぶるひ 僧坊具、和 義豆布流比 澆水

陸奥

みだらをのうま

和義太良字乃字方  
青白雜毛馬也 馬 忽馬

みぢのま

くはひ

舌義斗能  
麻具波比 溝合 眞字

○武部

一言

む武年無 无日 鷓務霧夢

二言三言

む 此類同  
年用 郁子

む 歌  
有古字云法後世誤  
字訓呈 格

む 此類同  
年用 報

古年加比年加布  
年加聲流同 向

む 古年加  
同 迎

む 古年又伊  
今むく 報

四言五言

む 正妻  
米又毛切豆米 嫡

む 參學本  
年岐於填紀 杆麩杖

古言林 ①

○免部

一言

免。米。賣。馬。每。梅。昧。迷。謎。面。咩。綿。璫。

二言

免兄弟之比米比 姪又甥

三言

免比比米比 盲又瞽

四言

免豆感又愛

免の  
免の  
免の

免和阿波 妻

免和乃能カ又示 乳母

免草和米 荒蔚

免木和米 挂

免豆良

免和豆羅志積知百日 希見許上の免づるや同感き細百希見やちうんふの感をも精

百言抄 ⑤





ろわ 備前之困  
毛刀呂爲 物理

五言八言

ものぐるひ 病名之困  
流比又ハ布流 癩狂

もぬげがは 困毛  
ハカ波 蛻

もづたふ 冠辞之困  
豆多布困 百傳

もひせりのつらさ 官之困  
毛此刀里

乃豆  
加佐 主水司

○也部

一言

や也。夜。耶。椰。娜。耶。揚。野

二言

やへ 固夜  
細困 八重 又彌重  
の器

やほ 固夜  
本 八百 又彌百  
の器

三言

やむを 無事之困  
夜無乎 環夫

やむ先 無夫之困  
夜無米 寡婦

やまひ 困夜  
下比 病

やいば 燒又之器  
以小通ソレ 双

やはび 困夜波須註  
箭受強也 筈

やまり 困也  
註箭並ニ

男やひ  
を女ふや  
む女ふや  
俗注  
又さけ

鏃

やらひやらふ

古神夜比奈夜比賜國逐之訓夜羅賦今本夜を渡す也

弱

やよひ

三月

やぶふ

和字也

やせら

和字

揚生

四言

やいはご

曾孫之子

玄孫

やいづこ

奴

やま

み

草之區惠弥又安方奈

黃精

やまたつ

區夜麻多色註是今造米者也

やま

くひ

盛天界

籠

やいぐり

串練

やゝ

ひや

細椰始難破

やはらぐ

和

やう

本耶々其耶を延て耶字漸

やいばた

火田之區也

やまた

五言六言

やはらぐ

草之區夜

やまぶ

欵冬

や

やいばこ

調度入津國之揚津也奈以豆也

やうかひ

や

やまのかひ

山間之區

やまのかげ

や

やまび

屋遊

巴戟天

や

へのけ

屋上苔

屋遊

や

右今録  
行日分  
りの日  
のの  
を  
を  
を  
を  
を  
を  
を  
を

○由部

一言

由遊游史庾愈喻踰瑜

二言

ゆゑ

細史湯坐

ゆゑ

西由惠

故

ゆふ

西木綿を割豊後風土記袖富古木袖樂母  
由不ゆふもや野蘇之役のこ

ゆゑ

眉生るを界終りゆ不やえり後不敷の本の皮も  
きをゆ不やえり眉生の糸綿ふ似るゆ

ゆゑ

西由惠

故

ゆふ

西木綿を割豊後風土記袖富古木袖樂母  
由不ゆふもや野蘇之役のこ

夕

ゆゑ

西由比

結

三言

ゆふべ  
西由夕  
布故

ゆくへ  
西往方後ふゆ  
くまやまは

ゆはす  
弓矢之西弓波  
堂西富義波敷

ゆげひ  
備前

ゆづる  
仏足石哥由豆利  
竟寧哥由都苗

ゆふき  
下總郡  
西由不岐

結城

ゆげひ  
備前

和由  
介比  
靴負

四言

ゆふつ

星之西由不豆  
豆註鼻見西

太白星  
庚長

ゆふさり  
暮之西  
不佐利

晡

ふがほ

雙神之夕二言  
顔ハ加部に出

夕顔

ゆづるは  
木之西  
豆流波

交讓木

ゆの

あわ

和由乃阿和俗云  
由王註焚石液

硫黄

ゆみいる

射

ゆみづる

和由  
都流  
弦

ゆみづる

和由  
弓之中央  
加註

射

ゆがはり

和由  
繩懸空中以爲戲也

和由  
都流

鞞 鞞

ゆきかひ ゆきうふ  
ゆきうふ

往及を訓  
買の買借字記 往 又

ゆきはり 麗由  
麻波

刑 齋

五言

ゆふされば 夕ふ  
夕ふ  
夕ふ  
夕ふ

ゆふづくよ 豆由布  
豆久欲 夕月夜

延部

一言

え衣延要曳依叡哀埃愛 兄江蔭表樓枝柄柯得

吉善 訓

可愛 二字一言  
和哀

二言

上のえひ  
えひの  
えひの  
えひの

えひ 和衣比註  
編平魚

えひ 和衣比註似鱧而  
青長鼻魚者也

鱧

えび 和衣比註俗  
用油老二字

蝦

だ 手足  
和衣太 肢

えだ 和衣太  
和延乃 枝 又條  
柯幹

えぞ 古言又人  
游詩の物語

えぞ 和衣太  
和衣多 蝦夷

えち

近江郡愛智和衣和  
遠江口依智和同上

えの 薩摩郡  
和延乃 類 娃

えの 和衣多  
和衣多 英太

古言林

三言

えをち

父の兄  
室衣手地

阿伯

えみ

網受際詩のえびん  
八歳中備志生頃也

蝦夷

えつり

えつり

えひら

和衣比良註  
養蠶器也

蠶簿

えふり

農具之相延布利  
註和之無齒者也

ハ

えつり

えつり

えやみ

屋具之  
京都利和曰

蘆藿

えやみ

和衣夜敷又和良波夜  
註二日一袋之病

瘡

えやみ

夜敷

えやみの  
えのほの  
字音を  
わけた  
まじり  
等

えらび

又登岐乃ハ註  
民皆病之○けえやみの  
えの疫の字音ありべければやらば

疫

えらび

源順が小甲子せ  
おのつー延と月音とてまよふべし

えくし

兄國

四言

えんむ

字表  
米虫

悔

えびす

草之  
無又衣比須林

地榆

えび

えび

昆布

海菜之  
昆比呂  
米又衣比須米

昆布

えのばら

和衣質波良註  
小兒腰痛之

痞

五言

えやみぐさ

草之  
久仇又途加奈

龍膽

えびかづら

草之  
豆良 蒲菊衣比加豆

芍藥

又字表  
須久佐和決明

えびじくさ

草之  
衣比須久須里又奴義久須里

芍藥

えびかづら

草之  
衣比須久須里又奴義久須里

芍藥

又字表  
須久佐和決明

同訓

言部

ヨ

與部

一言

與与日 豫預日 餘余日 用 容 欲 譽 庸 遙

二言

よむ初夜すべの 夜夜するべの

よは夜するべの 夜夜するべの

よらよら

三言

よはひ意等 齡

よばひ固用 結 誓

よほろ近江下野を 丁

樹引五保都 攀

よろふ備足之 取与呂布

よろひ改上高 和与路比 鎧 甲

よろ部在郎

つ細豫呂豆 方萬日

よそひ舌与曾比 儀

よをり折遠 部在郎

折事式江 次才才士

よわ

古目弱王と細眉輪王すり 輪ハ 弱柔

よるちみちの 四十

四言

よそほひ上のよそほひ 儀粧日

よるぼひ古本備馬

比保 透迤

五言

よばひぼ比保之 流星

よるひ草入和与呂比久 白止

姑言辨

よちをが

和字依之入知字  
依之註以行貫也

級

よみがへる

摩訶鉢曇  
蘇

よーちや

縦哉を訓又縦裏夜思又  
吉咲ハ師〇志ヤハ助辞のみ

○良部

一言

良浪羅囉羅擢樂

○利部

一言

利喇梨望里理離隣

⑤⑥⑦⑧



留部

一言

留。流。琉。瑠。類。累。盧。蘆。屢。樓。

礼部

一言

礼禮。例。戾。黎。連。縣。憐。

呂部

一言

呂。侶。路。露。稜。魯。盧。樓。漏。

詩經

卷之五

○和部

一言

和倭王浣童

廻輪丸刺

三言

わらは 和良童

まきへ 吾家

わらひ 和良童

笑 嗤

四言

あたつみ 海神は小海の姫名也 和和多都美同

むらへ 和良波倍 童男女

侘子

わ

らふだ 和良布太 註草褥

圓座

むづらひ 和良豆

煩

素く 和奈久 又千乃久

惜

あきまへ 信不 通辨

三代 史録

災比 禍

あざをぎ

古本神樂哥 加良乎 枝りるを合せて 過字も考もえり

またらひ 常世 浪北の約刺

活

あきらひ 伊勢郡 和多良比

度會

五言

わらはやみ 和良波夜表 又夜夜 美註 二日一發之病也 瘡

えやみの 上よ

古言抄

の

爲部

一言

爲水、女、萎、位、威、章、偉、滑、謂、音

井、居、座、處、猪、彘、豕、亥、隴

率訓

鳩二字一言、和爲註、共、鶴、似、野、而、大、者、也

二言

わろ和爲流註、船、音、効、不、行、也

わい遠江、以、和爲以 溜伊

三言

わのこ和傳、能古 豚

わもり和爲毛利註、探、井、中、出 蛸

わぬる和、井、子、和、宿、古、五、並、泥、斯、和

わさり居去 膝行  
わさふ居中、和爲奈、加、田、居、中、の、畧 田舎  
わせき和、佐、利 井

堰埭  
わぐい古、草、具、比、起、字、日 堰 榎和、杖  
わさり和、佐、利 井

来底  
わかへ伊、勢、郡、和、爲、奈、倍 負辨  
わのへ河、内、字、和、爲、乃、倍 井於、又、證、岐、井

上又、日、國、和、日 井門  
わやび續、和、爲、夜、備、和、お、や、ま、ひ、ま、て、う、や、ま、ひ、日、爲、守、面 禮

四言

わさらい和、爲、佐、良、比、和、爲、佐、良、比、誦、坐、處、之 醫  
わのり和、爲、乃、阿、之、註、杖、之、卷、續、者、之 織襪  
わて

わく率、往、お、ハ、比、岐、爲、の、畧、之

五言

保羅

わのや、き

草之困為 猪魁

わのくつ

草之困為乃久豆和 知為乃久豆知

知字相似ういづれ。 土のくん 室又為乃使

牛膝

わちこま火

豆之困為 珂字豆 知古未米

○惠部 以於上止 二言

○於部

一言

於。游。意。億。憶。飲。隱。乙。應。礫

二言

わや 親

おや 母

おち 面

おち 祖父

おば

祖母

たれ

おい

おみ

おに

おに

おに

おに

おに

使主

おし

おし

おし

おし

おし

おし

おし

おし

良之困 白貝

お

お

お

お

お

お

お

お

父の又、 中を、 小母、 字、

困於、 名、 加、 婆、 布、 使、 主、

良、 之、 困、 白、 貝、

攬、 具、 之、 氣、 聲、

思、 人、 和、 郎、 忍、 油、 之、 困、 於、

尸、 農、 游、 又、 歐、 斯、 能、 昆、 梭、

困於

良之困

困於不

攬具之

困於

困於

困於

困於

困於

おき 細新押 推  
おび 細麻 帶  
おき 伎 固流 瀛 又 澳 冲 訓

おき 息 木さき 置 おきた 追 おき 奥 木さき 生

起 波年又不負を流 負 木ひき 比 追 木ひき 固流伎 奥 木さき 固流伎 日入 於布 生

おひき 波年又不負を流 負 木ひき 比 追 木ひき 固流伎 奥 木さき 固流伎 日入 於布 生

おひき 波年又不負を流 負 木ひき 比 追 木ひき 固流伎 奥 木さき 固流伎 日入 於布 生

おひき 波年又不負を流 負 木ひき 比 追 木ひき 固流伎 奥 木さき 固流伎 日入 於布 生

おひき 波年又不負を流 負 木ひき 比 追 木ひき 固流伎 奥 木さき 固流伎 日入 於布 生

おひき 波年又不負を流 負 木ひき 比 追 木ひき 固流伎 奥 木さき 固流伎 日入 於布 生

字

之頭於初也 訓又於 織

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

おひき

三三言

おひき 風雨を詔り神を 麗

おひき 老老因意余新 老老一を 麗

おひき 父の父を 祖父

おひき 食指を比刀洗之乃

おひき 織部

おひき 大根を固流 羅富

おひき 又美藤藤 藤富

おひきの 伊字の 伊字の 伊字の

おひき 依奈方 公羽

おひき 指中指を奈加乃於之比 無名指

おひき 痛啞

おひき 大炊木がわ

おひき 草名之 固流 大黃

おひき 草名之 固流 大根

おひき 大根を固流 羅富

古言樹



石見<sup>ツ</sup> 色美 和於布敷  
 色久 備前郡之  
 色知 石見郡又能登

おさか 大和<sup>ツ</sup> 忍坂  
 忍坂 大和<sup>ツ</sup> 忍坂  
 おほち 石見郡又能登

四言

おほぐら 曾良 太虚 曾良  
 おほみま 美麻 御體 美麻

きみ 美 大君 美  
 おほむら 祖父の母  
 曾祖母 曾祖母

おほせぢ 父の才  
 阿叔 阿叔

おほよぢ 長子の妻 奴婦 奴婦

およづけ 老附  
 おむかひ 阿叔

お

お

お

お

お

お

お

お

むかひ 可宜 面影 面影  
 おもむく 顔面 赴 顔面  
 おむかひ 阿叔

おほつた 和於保豆米 螯 和於保豆米  
 おほた 和於保豆米

おほかみ 獸 狼 獸  
 おほた 和於保之加註 粟 和於保之加註

ら 木 食菜菓 木  
 おほた 和於保之加註

こ 草 車前 草  
 おほち 草 茶 草

く 草 玄參 草  
 おほむら 草

おもた 水草 澤瀉 水草  
 おほせり 草

古本傳馬守於保世  
利和當歸きも訓  
大符  
おごのり  
海草於期菜  
おほが祢  
保加

祢  
洪鐘  
おほしき  
おほつつき  
都奇  
墓  
おほぞこ  
華具之困於保土  
古註  
擲

つら  
馬具之困  
靴頭  
おほいみ  
字於波志  
檻  
おほつほ  
尿の器之困  
保都保  
虎子  
おも

鞞  
おほいみ  
帯華之困  
靴  
おびしもの  
おびせり  
劍具之困  
於比り利

佩  
おほいみ  
和冠乃子又保心  
須分又於以加計  
綾  
おほいへ  
衣の前襟之  
於保保久比  
襪

おほいみ  
古意當義  
大御酒  
おほいへ  
衣の前襟之  
於保保久比  
襪

おほいみ  
和冠乃子又保心  
須分又於以加計  
綾  
おほいへ  
衣の前襟之  
於保保久比  
襪

おほいみ  
和冠乃子又保心  
須分又於以加計  
綾  
おほいへ  
衣の前襟之  
於保保久比  
襪

ひ  
細遊等  
喧響  
おこ奈ひ  
おこ奈ひ  
細遊奈比  
後紀行本  
行  
およつれ

豆礼下日  
妖言  
おたやか  
おたひ  
日  
おとやひ  
日  
おとよひ

おとよひ  
五於毛保由  
私足石奇日  
所思  
おとよか  
字於曾与加  
美麗良  
嬋媛  
おこた

り  
行廢か  
急  
おとろく  
字於度  
呂久  
驚  
おびやし  
字於比  
也須  
憎

おぎのり  
乃利  
暇  
おろろか  
字於呂  
曹加  
踈  
おとろふ

おとろふ  
方  
衰  
おろはる  
字於曾  
波留  
魔  
おいてる  
難波ヤノノ  
固於志と流國日

おとろふ  
大和郡細  
於ア農遊  
忍海  
おぼらき  
上野郡  
於波良岐  
色樂  
おいた

み  
出羽郡  
於伊太  
置賜  
おほいた  
君模郡  
於保伊太  
大版  
おほい  
雙後郡  
於保伊多  
大



分

おさかへ

伊勢又遠江  
國於此加倍

おさかへ

極津之上中河  
於之加倍

おほさひ

主作之國  
於保九比

大忍

五言 至十四言

おほきりみ

國於保  
岐守兼

溟渤

おほだから

國於保太良  
此口又作

おほくち

國於保於  
保地國

曾祖

おほかち

氏之國凡河内  
凡大也

のづら

已疏  
自

おび志ばり

國於此之波利註  
勝尤右鹿内慶也

賺

おほ

よび

大指之國於  
保於此

梅

おひ光せり

國於須  
賣度里

護田鳥

鷲

おほ

おむ

國於保  
於無之

蝗

おろさうま

國於曾  
岐守方

駕馬

おにやうい

おほの  
三言交

追儼

おんぞれる

國葛英介延於保  
登礼流保葛云

おほ

おごり

草之國於支奈久  
佐又奈加久佐

白頭公

おほ、そみ

草之國於  
保人曾兼

虎堂

おろかおひ

自生稻之國於路  
加於此又此豆知

糴

おほうばら

草之國於保字及  
良又佐赤刀里

技

おこり

國於古之古米  
以蜜製米可作

粗粒

おまづき

國於之  
方都岐

おもろ

細研母之排  
積國團日

面白

おもよ

面柔之國  
於之知志

おもほてる

國於然作色を訓  
字於毛保互兩

喟然

おふり

丹後之國  
於布之字

凡海

おほやま

國之國於  
保後刀

大和

おのころ

國於能基  
呂島

礮敷廬嶋

おき

近江在國於  
吉奈我

息長河

おほかち

氏之國凡河内  
凡大也

古言抄

かふちせしむ<sup>一</sup>又<sup>一</sup>類<sup>一</sup>大押良を元<sup>一</sup>に<sup>一</sup>たま<sup>一</sup>る<sup>一</sup>に<sup>一</sup>なる<sup>一</sup>を<sup>一</sup>く<sup>一</sup>ら<sup>一</sup>す<sup>一</sup>  
今おほしきも唱るもつりて上<sup>一</sup>の<sup>一</sup>おほかおち<sup>一</sup>なり 凡河内

まもほくそ

あかみつ  
 おひの  
 あんが  
 ぎんが  
 りし  
 ぎんが  
 の  
 あ  
 おひの  
 木よ  
 む

面<sup>一</sup>子<sup>一</sup>、<sup>一</sup>和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>  
 毛<sup>一</sup>汲<sup>一</sup>久<sup>一</sup>曾<sup>一</sup> 黽

おほちふぐり  
鱉<sup>一</sup>の子<sup>一</sup>空<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>地<sup>一</sup>不<sup>一</sup>  
 久<sup>一</sup>利<sup>一</sup>和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>知<sup>一</sup>加<sup>一</sup>不<sup>一</sup>久<sup>一</sup>里 蝶蛸

おにのやがら  
草<sup>一</sup>空<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>乃<sup>一</sup>也<sup>一</sup>加<sup>一</sup>  
 良<sup>一</sup>和<sup>一</sup>可<sup>一</sup>又<sup>一</sup>汲<sup>一</sup>養

おほみくるぐさ  
皇<sup>一</sup>和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>  
 義<sup>一</sup>流<sup>一</sup>久<sup>一</sup>依 茸蕓子

おほおほぢぢぢ  
曾<sup>一</sup>祖<sup>一</sup>父<sup>一</sup>之<sup>一</sup>兄<sup>一</sup>弟<sup>一</sup>之<sup>一</sup>和<sup>一</sup>  
 於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>知<sup>一</sup>手<sup>一</sup>知 族父

おほい<sup>ま</sup>つり<sup>ご</sup>さ<sup>の</sup>つ<sup>あ</sup>さ  
職<sup>一</sup>名<sup>一</sup>之<sup>一</sup>和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>  
 伊<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>刀<sup>一</sup>毛<sup>一</sup>比 大辨  
中<sup>一</sup>并<sup>一</sup>須<sup>一</sup>奈<sup>一</sup>伊<sup>一</sup>

おほい<sup>ま</sup>つり<sup>ご</sup>さ<sup>の</sup>つ<sup>あ</sup>さ  
豆<sup>一</sup>利<sup>一</sup>古<sup>一</sup>刀<sup>一</sup>乃<sup>一</sup>官 大政官

おほい<sup>ま</sup>つり<sup>ご</sup>さ<sup>の</sup>つ<sup>あ</sup>さ  
和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>伊<sup>一</sup>乃<sup>一</sup> 大藏者

大宰府  
和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>乘<sup>一</sup>古<sup>一</sup>  
 刀<sup>一</sup>毛<sup>一</sup>知<sup>一</sup>乃<sup>一</sup>助

おほきむたち<sup>の</sup>つ<sup>あ</sup>さ  
和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>爲<sup>一</sup>  
 乃<sup>一</sup>豆<sup>一</sup>加<sup>一</sup>依 大炊寮

おほくらの<sup>つ</sup>か<sup>さ</sup>  
和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>久<sup>一</sup>  
 良<sup>一</sup>乃<sup>一</sup>都<sup>一</sup>加<sup>一</sup>依 大藏者

おほい<sup>ま</sup>つり<sup>ご</sup>さ<sup>の</sup>つ<sup>あ</sup>さ  
和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>伊<sup>一</sup>乃<sup>一</sup> 大政官

おほい<sup>ま</sup>つり<sup>ご</sup>さ<sup>の</sup>つ<sup>あ</sup>さ  
和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>伊<sup>一</sup>乃<sup>一</sup> 大藏者

大舍人寮  
和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>乃<sup>一</sup>持<sup>一</sup>  
 利<sup>一</sup>乃<sup>一</sup>豆<sup>一</sup>加<sup>一</sup>依

おほい<sup>ま</sup>つり<sup>ご</sup>さ<sup>の</sup>つ<sup>あ</sup>さ  
和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>伊<sup>一</sup>乃<sup>一</sup> 大政官

おほい<sup>ま</sup>つり<sup>ご</sup>さ<sup>の</sup>つ<sup>あ</sup>さ  
和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>伊<sup>一</sup>乃<sup>一</sup> 大藏者

大納言  
伊<sup>一</sup>毛<sup>一</sup>乃<sup>一</sup>万<sup>一</sup>宇  
 須<sup>一</sup>豆<sup>一</sup>加<sup>一</sup>依

おほい<sup>ま</sup>つり<sup>ご</sup>さ<sup>の</sup>つ<sup>あ</sup>さ  
和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>伊<sup>一</sup>乃<sup>一</sup> 大藏者

おほい<sup>ま</sup>つり<sup>ご</sup>さ<sup>の</sup>つ<sup>あ</sup>さ  
和<sup>一</sup>於<sup>一</sup>保<sup>一</sup>伊<sup>一</sup>乃<sup>一</sup> 大藏者

大臣

松原まつりごの松原まつぎみ

同國於保万豆利古  
乃於保万豆岐表

大政大臣

明和のはと先給せし乃八月あつ先給ぬ

下つ漁の國ある楫取魚彦

ふ登の忠愍きいの海つら

をみかうえつ

トウ乃ら先給ぬぬのほみ

ふんも 梓を給てあ給るをさあよ  
作のふんも 梓を給てあ給るをさあよ  
ほしあてよわあふもさあさあ  
あふも 梓を給てあ給るをさあよ  
梓を給てあ給るをさあよ  
あふも 梓を給てあ給るをさあよ  
あふも 梓を給てあ給るをさあよ  
あふも 梓を給てあ給るをさあよ



古言梯 餘藁  
 近刻  
 此の道は... (Handwritten text in cursive style, starting with '此の道は...')

古言梯

餘藁

近刻

書林

大坂長堀心守橋北詰

泉屋卯兵衛蔵

5. 10. 15. (Faint markings and stamps at the bottom left corner)

